

2023 松本秀峰中等教育学校評議員会・学校評価委員会 開催報告

松本秀峰中等教育学校

【開催概要】

日時：2023年7月12日(水) 15:00~16:30

会場：松本秀峰中等教育学校 美ヶ原棟 (B407 教室)

参加者：学校評議員6名, 学校職員6名 (校長、教頭2名、事務長、事務職2名)

【議題】

- 1, 活動報告
- 2, 本校の目指すビジョン
- 3, 質疑・意見・情報交換
- 4, まとめ

【会議記録】

1. 活動報告

以下について資料と共に主に昨年度の取組事例を中心に解説し、各部門の課題についても提示した。

(1) 学事・教務

- ・新型コロナウイルス感染症への感染対策
- ・クラス編成と習熟度別の授業展開への今後の取組
- ・校内のDX推進と新校務システムの活用
- ・保護者アンケートの実施と結果に基づく改善策の遂行
- ・授業の質の向上を目的とした学校長による授業見学とフィードバック。
- ・教員採用と教員の研修強化
- ・日課、教育課程の改善に関わる見直しの検討について

(2) 進路指導と進学実績

- ・2022年度取組内容の報告
- ・中期計画に掲げる大学合格実績について、2023年度実績を踏まえた分析結果
- ・進路指導の今後の課題 (学年間、教員間、教科間の連携)
- ・正課外の講習等の充実化

(3) 諸活動

- ・秀峰祭 (文化祭) (2023年9月23日(土)、24日(日)) の開催について
- ・部活動・生徒会活動・同好会活動の更なる促進
- ・昨年度全国3位になった「SuperCon」の本線出場の報告 (2023年度)
- ・一層の教育充実を推進するため文化祭のほかの学校行事を計画。

(4) 広報活動

- ・2022年度の事業・取組概要を説明。
- ・小学校訪問実績

- ・HPの活性化（主に生徒の日常の記事を増強）
 - ・県内の人口減の状況報告
 - ・中期目標の志願倍率維持への取組
- (5) 財務・運営
- ・主な資金収支の概要報告と今後の課題と取組

2. 本校の目指す将来ビジョン

【松本秀峰の新たなステージへ】

学校長より、本校の将来ビジョンが示された。

① これまでの松本秀峰と現在抱える課題について

- ・松本秀峰の教育は、生徒一人ひとりの成長していく過程をととても大切にしている学校である。
- ・本校は長野県にある私学でNo.1の教育環境を持つ。松本秀峰はOnly Oneの学校である。アップデートしていくことで、松本秀峰を全国レベルの学校にできる。
- ・とても高いレベルの教員の指導力がある。また、質の高い教育を求める保護者の理解と協力が得られている。その優位性を生かし、中高の6年間で万全な教育環境を提供することで、次世代の子供たちをより多く社会に送り出すことができると実感している。
- ・一方、松本秀峰が潜在的に持つ本来の価値を教員や生徒、さらには地域の方が見いだせていない実情も存在。

② 第1ステージ

圧倒的な基礎学力により、難関大学への合格実績、保護者・地域などへの秀峰生のイメージの共有、県内私立上位難関校としての認知度を確固たるものにしていく。

③ 第2ステージ

- ・人間力の強化。学力向上に加えキャリア教育を強化
- ・「個別最適化」の学習環境の充実
- ・多様性・国際性・創造性に欠ける点について、学習環境を整備

④ メディカルコースの再定義

- ・真の国際医療人になる学力・覚悟・行動力の育成

⑤ 学校改革

- ・県内募集に併せて、全国募集へもシフトし、真の県内No.1の私学を目指していく

3. 質疑・意見・情報交換

① 生徒募集について

- ・県外から募集する意向があることを受け、学生寮の充実、首都圏から家族で転居するケースへの対応等への期待が寄せられた。
- ・他校より高度な授業を行い、生徒の個性を最大限に引き出す教育を行うことで、最難関大学や医学部医学科に合格させることを期待してきた。他校に流出する県内の優秀な生徒をどう取り込むかという課題。首都圏等の優秀な生徒も積極的に獲得することが今後、県内の志願者へ良い影響も与えるのではと期待する。

② メディカルコース

2023年度にスタートした本コースの方向性や目標、内容が明確となったことによるさらなる期待を寄せる。

③ 不登校ぎみ等支援が必要な生徒について

全国的に不登校生徒が増える中において、松本秀峰での状況と該当生徒への対応について意見交換。今後、担任だけではなく、関係教員によるチームを組む「3室①保健室（体）②カウンセラー室（心）③図書室（学力）」を立ち上げ、さらなる支援に繋げていくことが確認された。

④ 海外研修

新型コロナウイルスを鑑み、実施を断念していたイギリス海外研修の状況について、質疑がなされた。2023年度は4・5学年が、それぞれ2週間イギリスへ渡航できたが、例年実施している「ホームステイ」が実現できなかったこともありこれまで通りとはいかなかった。次年度以降に向けた計画を進めている。

⑤ 大学合格実績等進路支援について

習熟度の遅い層のフォローを丁寧に行うことで、難関大学等、生徒の理想の進路に繋げることが出来るのではないかと。前期課程のうちに補講等でフォローすることで、進度の速い秀峰の授業についていけるように育てていく。また、こうした支援により、難関大学の合格実績をさらに伸ばしていくことにつなげていきたい。実績が出来ることで、多くの受験生を惹きつけることになり、さらに優秀な生徒の獲得に繋げていく。

⑥ 全体的な感想

- ・外部から見て、秀峰の生徒は礼儀正しく、学校にも良い印象を持っている。
- ・社会人になって、必要とされる思考力・創造力・行動力や国際性などを秀峰で過ごす6年間で学べるのはとても魅力が大きいため、今後も頑張ってもらいたい。

4. まとめと今後の課題

今回、外部評価委員の方がと意見交換し、次のステージのためにも解決を期待する課題としては、以下3点としてまとめた。

- ① 県外からの募集にあたり、学生寮の充実や首都圏からの転居家庭への支援等
- ② 支援が必要な生徒たちへのバックアップ体制の強化（3室の稼働）
- ③ 基礎学力向上に向けた生徒への支援拡充

長野県の私学でNo.1の教育環境を持つ、松本秀峰はOnly Oneの学校として、宗像学校長の第2ステージ計画に基づき、新たな教育プログラムや様々な支援を強化していく。また、今回の外部評価委員の方の頂いた率直な意見を参考に、本校がさらに輝きを増し、価値のある学校にしていく。